

3. 災害に対する脆弱性

東北地方は、宮城県沖地震など大規模地震、津波、水害、火山活動等の災害や豪雪の被害を受けやすく、災害の防止や被害の最小化を図るハード・ソフト対策を進めていく必要がある。

- ・ 東北地方は、全国的にも地震多発地帯であり、脆弱な地質や海岸部では、落石やがけ崩れ、津波等の災害に見舞われる危険性を抱えている。このため被害を最小に抑え、被災後の迅速な対応を図る社会資本整備が急務である(図 、 、)。
- ・ 東北地方は台風や前線に起因する豪雨や積雪が急に融けることによる融雪災害など、集中豪雨等により、毎年のように各地で洪水や土砂災害が発生し甚大な被害を受けており、全国と比較しても東北地方は高い方である。(図 、 、)。
- ・ 東北地方には18の活火山があり、岩手山を含む11火山が活発な活動があるBランクの火山に指定されており、火山に起因する災害についても被災が予測される(図)。
- ・ そのため、河川改修や遊水地、ダム等の治水対策や、津波、土砂災害、火山活動等の災害の防止対策が求められているとともに、災害情報の発信・周知といった防災体制の強化やソフト面の充実など、住民の安全・安心を確保することが必要である。

図 東北付近の地震発生源と主な大地震・津波

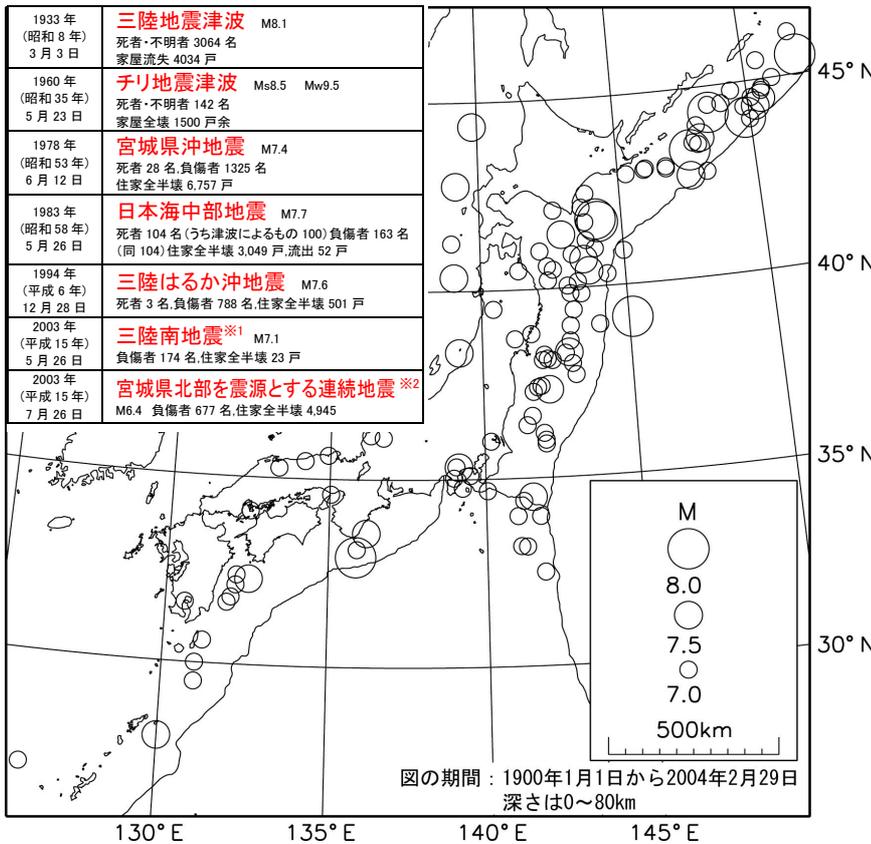
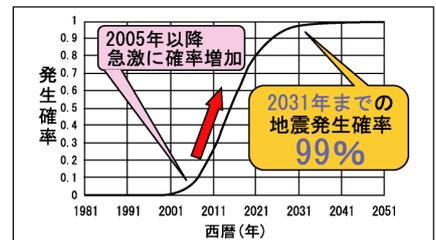
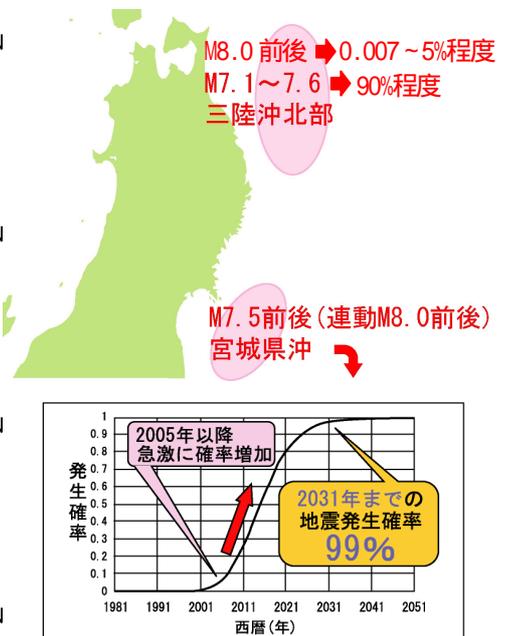


図 宮城県沖地震等の発生確率(今後30年以内)



出典：地震調査研究推進本部(文部科学省)
表中注釈は加筆

出典：気象庁作成資料及び 2003 年理科年表

1,2 「三陸南地震」、「宮城県北部を震源とする連続地震」は公式に命名されている地震名ではないが、報道等で一般に周知されている名称とした。
1 (被害状況) 平成 15 年 11 月 21 日消防庁発表 2 (被害状況) 平成 15 年 12 月 8 日消防庁発表

ハード対策: 施設や設備の建設等、「モノ」をつくって対処する対策。

ソフト対策: 「モノづくりの仕組み」や「モノの利活用」の面から対処を考える対策。

図 地震・津波の被害状況



(宮城県沖地震により寸断された幹線道路(仙台市))



(三陸地震津波後の宮古市)

図 各都道府県の水害等による被害額(平成11年価格)(過去20ヶ年の合計)

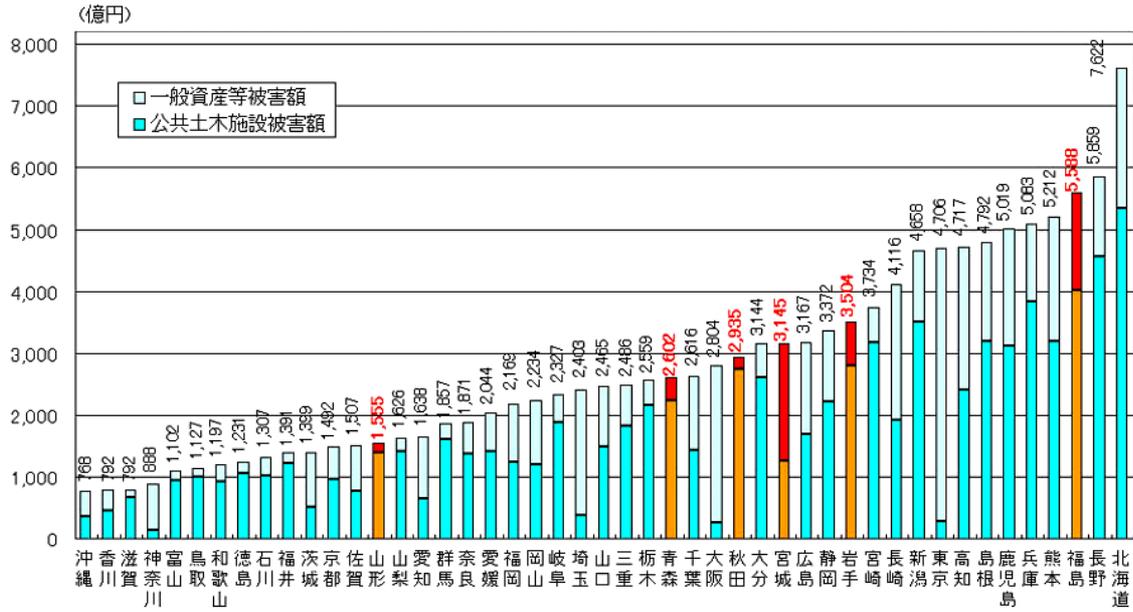


図 水害の状況



(平成14年台風6号による阿武隈川
二本松・安達地区流域浸水状況)

図 土砂災害の状況



(平成14年7月 釜石市土砂災害)

- 注1) 公共土木施設被害額は、国土交通省所管にかかる公共土木施設災害復旧事業決定工事費とした(港湾関係を除く)。
 - 注2) 一般資産等被害額は、家屋、家庭用品、事務所資産(償却資産、在庫資産)、農漁家資産(償却資産、在庫資産)、農作物及び事業所営業停止に係る被害額である(ただし、平成12年のデータはない)。
 - 注3) 公共土木施設被害額は昭和56年から平成12年までの過去20ヶ年、一般資産等被害額は昭和55年から平成11年までの過去20ヶ年の被害額(名目値)を平成11年価格に実質化して合計したものである。
- (出典)「防災課資料」、「水害統計」(ともに河川局)より河川局作成

図 東北地方の活火山



資料: 気象庁